油汚れ専用洗浄剤

イシクリーンシリーズ

動植物油用洗浄剤

アブラリムーバー

【特徴・用途】

石材・タイル・コンクリートなどに染み込んだ油の汚れを溶け出させて除去します。

油の種類により使い分けます。
『オイルゲッター』は機械油、エンジンオイルなどの鉱油系、
『アブラリムーバー』は動植物油の汚染に対応します。

内部に染み込んだ頑固なシミも湿布剤『ネンドル』と併用します。

Konsho Co.,Ltd.

動植物油用洗浄剤『アブラリムーバー』

【目的】

- 石材に染み込んだ動植物油のシミの除去

【使用前の注意】

- 強アルカリ性ですので一部の御影石や本磨き仕上げの大理石や人造石に使用しますと、艶を落としますので、使用しないでください。
- 必ずゴム手袋を着用し、素手で扱わないようにしてください。また、必要に応じて保護衣、保護メガネなどを着用してください
- 石材への影響を確認するため、必ず目立たない箇所で予備テストをおこなってください。
- 内部に染み込んだ頑固なシミは湿布剤『ネンドル』と併用すると効果的です。

【使用方法】

① ブラッシング方法（軽度の汚染）
汚染部分にアブラリムーバー原液～5倍液を塗布しておき5～15分放置してからブラッシングしてください。
（落ちきれない場合は再度繰り返します）

② 湿布方法
ネンドル工法を御参照ください。

ネンドル湿布吸着工法

素材内部に染みこみ塗布、ブラッシングだけでは落ちない頑固なシミの場合は湿布剤『ネンドル』を併用することにより除去できます。

【使用方法】

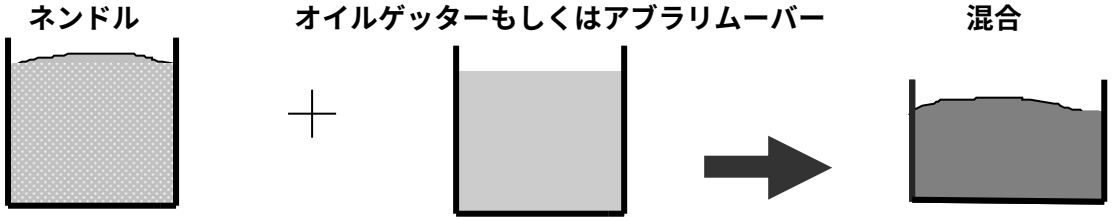
- **湿布方法**

① オイルゲッター（もしくはアブラリムーバー）とネンドル（湿布剤）を混合しよく練り合わせます ⇒ ともに原液を使用します。
混合割合は 容量比で
オイルゲッター（もしくはアブラリムーバー）１：ネンドル０．８～１です。
（耳たぶ程度の柔らかさです。重量比は下記の表を御参照ください）

② 練り合わせた物を除去したい部分が完全に、覆われるように貼り付けます。
厚みは２～３㎜程度になるようにして下さい。
さらに洗浄剤が乾燥しないように、ポリエチレンフィルム（ラップ）等で覆って下さい。

③ この状態で３～１２時間そのまま放置し、養生後ネンドルを取り除き、石材を傷めない用充分に水洗いして下さい。

※ 養生時間は汚染度合いにより異なります。
養生後ポリエチレンフィルム（ラップ）を剥がし、ネンドルが乾燥するまで放置してから取り除くと効果が上がります。



混合した後２～３mm程度に貼り付け、上からラップします
この状態で放置します。
放置後、ポリエチレンフィルムを取り、ネンドルが乾燥するまで放置後、水洗いするとさらに効果的です。

【１㎡あたりの使用量】（目安）　　【ネンドル１Ｋｇに対して】

汚染物	品名	容量	重量	使用量目安
機械油 コーキングのシミ	オイルゲッター	1.55Ｌ	－	2.35Ｌ
	ネンドル	－	0.66Kg	１Ｋｇ
動植物油	アブラリムーバー	1.55Ｌ	1.7Kg	2.6Ｋｇ
	ネンドル	―	0.66Kg	１Ｋｇ

※湿布の厚みによって異なりますので目安としてください。
※ネンドルの替わりにウェスなどで湿布する方法があります。この場合もウェスが乾燥しないようポリエチレンフィルム（ラップ）等で覆ってください。

【 性 状 】

	アブラリムーバー
外 観	無色透明液体
成 分	アルカリビルダー・アルコール系溶剤
ｐ Ｈ	１２～１３（１％Ｓｏｌ）アルカリ性
荷 姿	４㎏×４・１８Ｋｇ

【取扱い上の注意】

1. 直接手に触れないよう、ゴム手袋を着用してください。
2. 必要に応じ保護メガネ、保護衣を着用してください。
3. 水以外のものとは絶対に混合しないでください（オイルゲッターは原液使用）。
4. 保管については、必ず冷暗所で密閉保管してください。
5. 屋内で使用する場合は必ず換気を十分におこなってください。
6. 使用上の注意や保管方法の詳細につきましては、製品安全データシート（MSDS）を御参照ください。

紺商株式会社
〒940-0061 新潟県長岡市城内町3-7-8
Tel.(0258)32-4411 Fax.(0258)32-4669
URL http://www.konsho.co.jp